

## 実績報告書

1 事業者名	わぐわぐ Works
2 事業名	小千谷寺子屋プロジェクト
3 実施期間	2017年 8月 9日～ 2017年 8月 11日（ 2泊 3日）
4 実施場所等	<p>【ワークショップ会場】 小千谷私立小千谷小学校「振徳館」・岩沢集落・小千谷市内</p> <p>【宿泊施設】 市民の家・小千谷信濃川水力発電館「おちやーる」</p>
5 対象年齢・参加人数	小学5・6年生 合計16名
6 参加費	有料（5,000円）
7 内容	<p>※実施した取組みの内容を具体的に箇条書きで記入する。</p> <p>「自分で考えて生きる力を身に付ける」をゴールに、アクティビティを用意した。小千谷の小学生も交え、4～5名のグループをつくり、大人1名がリーダーとしてついた。参加者には、頑丈な手袋やライトなど、7大道具を支給し、行われるアクティビティに対して必要な準備を、自分達で考えさせて、実施させた。</p> <p>【1日目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8大サバイバル体験…火起こしや槍投げ、丸太切り、ロープを木に引っかけてターザンスイングなど、8つの体験にチャレンジ。実施前後に、(1)どうなると思う？（結果・危険の想像）(2)どうすればよい？（危険への準備）(3)どうだった？（振り返り・次への学び）という問答を、参加者で行い、自分で考えて生きる思考の基礎の定着を図った</li> <li>・寺子屋タイム…夏休みの宿題や自由研究に、参加者同士や大人達と協力しながら取り組んだ</li> <li>・ナイトハイク…真っ暗な山へ登り、星を見るプログラム。ここでも「どんな準備が必要？」という声かけの元、参加者が自分達で必要な準備をして、向かった</li> </ul> <p>【2日目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜収穫…自分達の昼ご飯のための野菜（じゃがいも・えだまめ等）を収穫した</li> <li>・草履づくりワークショップ（選択制）…岩沢集落の方々にご指導いただきながら、藁から草履を編む体験を実施した</li> <li>・作品づくりワークショップ（選択制）…岩沢近隣のブナ林に入り、「自</li> </ul>

	<p>分の身体よりも大きい作品をつくる」ことを目指して、落ち葉や木などを利用してグループで作品を制作した</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寺子屋タイム…日本最古の公立小学校である振徳館(現在は小千谷小学校内に移築)にて、その歴史についての話を聴いたり、自分達が持ってきた課題に取り組んだ</li> <li>・バーベキュー…1日目に習得した火起こしのスキルで、一からバーベキューを実施した</li> <li>・花火…自分達で実施から片付けまでの役割分担をさせて、実施した</li> </ul> <p><b>【3日目】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りワークショップ…3日間の写真や動画を使って制作した振り返りムービーを鑑賞。その後、「3日間で、自分で考えて生きる力が身に付いたと感じた瞬間は?」「この体験を今後の生活にどう活かしたい?」という問いに対し、個々人で想いや考えをシートに記入した。記入後は、グループリーダーに見せに行き、問答をしながら、更に考えを引き出した</li> </ul>
8 効果	<p><b>■主体性の向上</b></p> <p>どのプログラムを実施する際も、「ゴールやルールを共有し、あとは子ども達に自分で考えさせる」ということを徹底し、グループリーダーにも、「こうしなさい」ではなく「何をしたい?なぜしたい?何に気をつける?」など、指示をする際の声のかけ方に細心の注意を払った。</p> <p>→1日目や2日目の午前中は、こちらからの質問に対して素直に返答していた。更に、2日目の夜には、自分たちのタイミングで花火を始めたいと申し出て、その際には自分たちで「こんなことに気をつけます」ということまでを大人に宣言してから、自分たちで実施するようになっていた。</p> <p><b>■自己肯定感の向上</b></p> <p>短い期間の中でたくさんのコンテンツを用意した。また、予想・準備・実施・振り返りがきちんと行えたことに対して、「ほめること」を大人達で徹底した。</p> <p>→終了後の感想で、ほとんどの参加者が「〇〇ができるようになった」と、しっかりと自分のことを評価できていた。</p> <p><b>■チーム行動への適応</b></p> <p>参加者同士は初対面で、更に小千谷の小学生達も合わせた4～5名のチームを組み、プログラムに臨んだ。</p> <p>→自分たちでチームのルールを決めたり、アイスブレイクのゲームを準備するなどにはしたが、こちらで提案することなく、初めて体験することに対しては意見を出し合ったり、協力しながらクリアしていた。</p>

※ 必要に応じて、枠を広げてください。

## 収支決算書

## I 収入の部

項目	内容	金額
1 助成金等	次世代育成基金活用事業助成金	1,260,000
2 その他収入	参加費(@5000×30)	150,000
収入合計		1,410,000

## II 支出の部

項目	内容	金額		
		参加者（子ども）	その他	項目合計
<b>① 助成対象経費</b>				
(1) 旅費	① 宿泊費 -1 事前打ち合わせ宿泊費（5月11日@7800円×1部屋） （6月10日@3000円×1部屋） （8月8日@2600円×1部屋） -2 プロジェクト宿泊費 ② 交通費 -1 事前打ち合わせ交通費（内訳別紙） -2 プロジェクトバス代（旅行保険代含） -3 遠方スタッフ交通費 ③ 食費 -1 お弁当代 1日目昼食@600円×子ども16名・スタッフ13名+税 2日目朝食@700円×子ども16名・スタッフ11名+税 3日目朝食@700円×子ども16名・スタッフ11名+税 -2 2日目昼食代(収穫体験講師料等含む) -3 3日目昼食代 @1000円×子ども16名・スタッフ12名(税込)	74,000	125,543	74,000
(2) 謝礼	1 当日運営に対する謝礼(@5000×3×6) 2 事前打ち合わせに対する謝礼(@4000×4×6)		90,000	90,000
(3) 印刷費	1 会議資料印刷 2 チラシデザイン費 3 チラシ印刷代 4 しおり印刷	3,410	1,380	4,410
(4) 物品購入費	1 サバイバル体験用消耗品 2 配布用7つ道具購入費 3 応急処置用品 4 参加者送付用封筒代 5 キックオフミーティング用消耗品・飲み物等 6 その他事務用品	15,878		15,878
(5) 役務費	1 切手代 2 参加者への参加申込書・感想文送付代 3 お弁当屋への注文Fax		2,840	2,840
(6) 使用料及び賃借料	1 キックオフミーティング(杉並) 2 キックオフミーティング(小千谷)	7,600	7,160	7,600
(7) その他		4,250	100	4,250

				0
② 助成対象外経費（その他の経費）				
	1 小千谷子ども参加者食費			
	1日目昼食@600円×14名+税		9,072	9,072
	2日目朝食@700円×14名+税		10,584	10,584
	3日目朝食@700円×14名+税		10,584	10,584
	3日目昼食@1000円×14名(税込)		14,000	14,000
	2 小千谷子ども参加者7つ道具購入費 @4973×14名(税込)		69,622	69,622
	3 2日目夜バーベキュー食材費等	33,790		33,790
	4 その他雑費		106	116
支出合計（総事業経費①+②）		849,623	560,377	1,410,000